



セーフコミュニティってなんだろう??

Q1. そもそも、どんなコミュニティのことなの?

「事故やケガは偶然に起こるのではなく、
予防できる」と考えて、事故やケガの予防に
取り組んでいるコミュニティのこと。

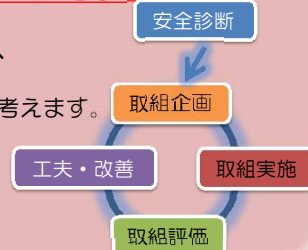
このコミュニティには、地域の皆さん
や、市役所、警察、消防、医療機関
など、地域に関わる全ての人が
含まれています。



Q2. 事故やケガの予防ってどうしたらできるの?

思いつきで予防に取り組むのではなく、
統計データやアンケート結果使って
事故やケガの原因を調べ、予防策を考えます。

取組後はしっかり効果を確認して、
予防策の見直しも行います。



鹿児島市では、「交通安全」「学校の安全」「子どもの安全」
「高齢者の安全」「DV防止」「自殺予防」「防災・災害対策」
の7分野に取り組んでいます。

7分野の取組「子どもの安全」

子どもの安全対策

- 目標** 家庭内等での事故・けがの減少
子育て中の親への支援
- 取組** 家庭内等での事故・けがに関する情報の発信
体力・運動能力の向上を目的とした活動
子育てに悩みがある保護者の相談及び
子育て体験談の情報発信 など



子どもは、生活の行動範囲が
急激に広がるので、思いがけない事故が
起こる可能性も高くなります。

溺水事故対策に努めましょう!

消費者白書によると、子ども(1歳以上)の「不慮の事故(交通事故、自然災害除く)」の
死因内訳で、「**溺水**」が**約半数**を占めています。

0～2歳は「**浴槽**」が**9割以上**、3歳以上は「**河川**」の割合が高くなっています。

2歳まで

- ①入浴中に目を離さない
- ②お風呂の水を抜く
- ③浴室に鍵をかける

3歳以上

- ①川や海では必ず保護者が付き添う
- ②ライフジャケットを着用する

といった対策が有効です。

溺水事故を起こさないため、
日頃から**事故防止への意識**を持ち、その**対策を実践**しましょう!



自宅で出来る!

子どもの事故予防のポイント

○環境整備をする

出典:日本赤十字社ホームページ



・テーブルの角にコーナークッションをつける
ゴムホースを20cmくらいにカットし、縦にはさ
みを入れ、コーナーにはめ込みます。

○安全教育をする

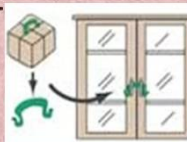
交通ルール、遊びの中でのマナー、道具の
安全な使い方を教えるなど、積極的な安全教
育が必要です。



○こどもの運動機能を高める遊びをさせる

周囲の環境を整備し、大きなけがを起こさないよう配慮し
た上で、子どもを自由に遊ばせます。

歩く、走る、飛ぶ、押す、引くなど
基本的な運動を積み重ねることで、
体力を高め、バランス感覚を養い、
事故から身を守るための
運動機能を高めます。



・観音開きの戸に簡単なストッパーをつける
扉に向い合せについている取っ手にプラス
チックの取っ手を差し込みます。



鹿児島市では、WHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 危機管理局 安心安全課 セーフコミュニティ推進係（市役所東別館3階）
TEL：099-216-1512 FAX：099-226-0748

